No.266

SANSAN

光り輝く

≥□ ∠¬≺ http://www.ja-tomakomaikouiki.com info@ja-tomakomaikouiki.com

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の雷給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変 動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深 刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の 確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支 援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活 動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区 で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解 のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課 題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活 動・運動であります。



JA·JA職員(とりまとめ)



理解のある政治家に 現場の声や実態を届け、

政策の実現

令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産 予算の確保に向け、IAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじ め、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現 場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への 積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであり ます。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすこ



とが重要であります。そのために、我々 Aグループの代弁者として、先頭に 立って多くの国会議員に働きかけ、農 業やJAの理解者を増やし、まとめてい くことができる議員、つまり、JAグルー プの代表議員が必要なのです。

> 東野ひでき公式 LINEアカウントへの 登録はこちらから

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や 参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。 次回(第5回)は、参議院選挙の仕組みについて紹介します。



東野ひでき北海道後援会

【穂別】青年部クリスマス・スポーツ交流会を実施 家族に素敵な思い出をプレゼント

親子がチームとなり、対戦(大玉転がし)



No.266 CONTENTS

クリスマス・スポーツ交流会を実施 家族に素敵な思い出をプレゼント

- カメラレポート
- 07 令和6年度

冬期組合員懇談会主要意見集約(Q&A)

- 理事会報告
- 期待の農力 小林優太さん
- ワンポイント営農情報
- あぐり講座
- 令和5年度產 一般米共計勘定収支内訳 令和5年度產 一般米精米勘定収支内訳

令和5年度産 大豆共計精算報告

裏表紙 JAグループ北海道の農政活動強化に向けて 第4回「農政活動の仕組み」について



12月8日に開催された、穂別支部青年部 クリスマス・スポーツ交流会の大玉転がしで 競い合う中澤和晴親子と宮崎雄次親子。



▲綱引き対決、勝利の行方は



▲頑張っているお父さんにクレープを差し入れ

くれたら嬉しいな」と期待を寄せた。くれたら嬉しいな」と期待を寄せた。今年で青年部の勇退を迎える由布さんは「楽しい今年で青年部の勇退を迎える由布さんは「楽しい 笑顔を見せた。かつたが、これを機に挑戦してみるのかったが、これを機に挑戦してみるのんなに楽しいと思わなかった。今まで |なに楽しいと思わなかっな大頭光寛さん(20歳)は「み んなと一緒に料理をするのが、こ 料理に関わることは 3枠を広げていね。特に綱



降り積もる中、この日を楽しみにしていた親ある穂別スポーツセンターで開催した。当日にて初の試みとなるクリスマス・スポーツ交には域青年部穂別支部(中澤誠弥支部長)は12

とまった。
とが、盟友の家族までとすることで話はまるかで会議は難航したが、盟友の家族までとすることで、婚活の機会に子供との交流や調理スキルを身につけることで、婚活で、青年部事業への理解に感謝する機会を設け、独身者には、こて・青年部事業への理解に感謝する機会を設け、独身者には、こ の交流や調理スキルを身につけることで、婚活の理解に感謝する機会を設け、独身者には、こ年部家族間の交流を深め、普段から家事・子育

会を楽しみましょう」と挨拶した。ちを込めて本日は思う存分一緒に遊んで 、たくさん食べて交流に、日頃の感謝の気持に、日頃の感謝の気持に家族の方へ、一緒に

を競い、結果はサンタチームが勝利を収めた。 入れ・大玉転がし・〇×クイズ・二人三脚・全員リレ・識し、サンタチームとトナカイチームの2チームに 怪我防止のため、全員で準備体操を行っ 全員リレーの5種目とチームに分かれ、玉った。クリスマスを意

のに、笑顔になっている子供たちの姿が印象に残った。足腰の前に、踏ん張りが足りず敗れてしまった。負けたはずな供たちは奮戦していたが、農作業で鍛えた由布さんの驚異的な(40歳)1人に対し、子供たち4人で綱引きに挑戦した場面。子その中で特に盛り上がりを見せたのは、部員の由布龍哉さん

プレゼント

最新農業情勢や技術に加え 6次産業化を学ぶ

在の農業情勢やスマート農業技術に加え
9日にかけて東京と栃木を訪問し、現
JAとまこまい広域青年部は11月27日 10名の部員が参加し知識を深めた。 6次産業化について学んだ。同研修には まず㈱日本農業新聞本社を訪問し、日 上農業技術に加え栃木を訪問し、現

本農業の 人一人の食料安全保障の確保、環境との業・農村基本法について触れられ、国民一 調和が組み込まれたと説明を受けた。 6年6月5日に公布・施工された食料・農 現状について講義を受け、その中で令和 集局長から、日本の農業が置かれている 大きな可能性をテ マに川島編

次に6次化を行った栃木県の酪農家、

年のソフ

地域の話題を

パチリと

▲㈱日本農業新聞での研修の様子 のミルク る。ヤギ い り してい り 牧場では う り 場で は を も製造す たチーズ チーズを した生乳 を使用し との差別 を 自ら生産 使



▲今牧場で集合写真

白老町

JAとまこまい広域和牛振興協議会視察研修会開催

JAとまこまい広域和牛振興協議会は 株式会社徳寿 フ

ァ

ムを訪問

会員が参加した。 ファームで視察研修会を実施し、28名の11月26日、白老町にある株式会社徳寿 株式会社徳寿ファ

流となっている増体や母牛得点の向上技受けた。また現在、種雄牛の改良が進み主 術、今後市場出荷する素牛の飼料管理 より株式会社徳寿ファ 頭の肥育牛販売実績となっている。牛肥育を開始し、現在では年間約180 視察研修会では場長である岩田悦郎氏

ムは令和元年に和 ムの概要説明を 視目技

> の農場から出荷された素牛との再会を喜買した素牛も多く飼養されており、自ら ぶ会員の姿もあった。 察を行った。牛舎内には広域管内から購

肉(BMS 浩氏が生産し、本農場で肥育された和牛 KANTOで、本協議会会長である小松 研修会後は徳寿ファ ムレストラン









▲㈱徳寿ファームで岩田場長から説明を受ける様子





▲視察の様子

▲白老町で㈱徳寿ファームが経営する、

ファームレストランKANTOの前で集合写真

化を行ったことでお客さんとの繋がりがインの構想を図っていた。今さんは「6次 でき、その方々の顔を思い浮かべながら 本業の生乳生産へ今まで以上に力が入 トクリ ム販売に向け製造ラ た令和 標に関する講義を受けた後、牛舎内の

る」と話した。

の両面から営農をサポ できるほか、生育状況に応じ可変施肥もスクを予測。防除の効率化を図ることが 地力・生育・植生マップを色の濃淡で表示 を受けた。 できることに加え、 ルビオは、人工衛星分析デ ト農業(ザルビオ等)につ 能となり、余分な経費削減と収量安定 最後に現在JA全農が取 タとリンクし、4日先までの病害リ いて学んだ。ザ -タを利用し により気象

白老

令和6年度冬 白老牛農産物フェア開催

広域産農産物 の P Rを行う

白老牛農産物フェアは夏と冬の2回開老牛農産物フェアを開催した。 年12月7日に倉庫内にて令和6年度冬白 Aとまこまい広域白老支所は令和6

て地域住民の方々 方々へ還元価格で提供して広域産農産物のPRも兼ね

ぶ用の 所狭しと並んだ 級の白老牛。 の白老牛。商品はすき焼き、しゃぶしゃ今回用意した大浦夕輝さんのA5等今回用意した牛肉は白老牛改良セン 角切り うす切り 焼肉用がショーケーのりのものを中心に、 ス内に

様が訪れ

人様3個までと制限がつくほどの 希少部位ということもあり争奪戦と キは今年もおー

来場されたお客様は

「毎年楽しみにし



▲米、加工品販売の様子

▲広域産農産物販売の様子

た。今年はたっています。年末に 焼き用の牛肉にしようかなと考えて また農産物コ 楽しみですーと話して、一人ので今初めてヒレステーキを買えたので今 今年は特に寒さが厳しいので、 しみです」と話して が は特に寒さが厳しいので、すき にせてやりたいと思ってきまし ので、すきにせてやりたいと思ってきまし 売した。特に豆類を一では旬のながいも

催され

毎年の恒例事業である道内視察研修が開

年部早来支部(支部長

宮本悠揮)では、

1月10日(金)、JAとまこまい広域青

深める

知識と親睦を

JAとまこまい広域青年部早来支部事業「道内視察

公研修」

悪天候の懸念から倉庫内での開催とし

行われた。

物館ウポポイ(民族共生象徴空間)を訪れ

午前中は、白老町にある国立アイヌ博

蛇の列を成した

い求めるお客様は毎年増えており、

豆類を販売した。

合し、研修が終わった後、夕方の仕事に間ており、朝の搾乳終了後の10時00分に集

に合う15時30分までに帰宅という行程で

の仕事があるため毎年日帰りの研修とし

早来支部の部員は酪農家が多く、朝夕

▲集合写真(苫小牧ニューホランド)



し、アイ 館を見学

の農業機械の整備や販売工程を教わっチェックや管理システムを見学し、海外

査場・工場・部品庫・商品倉庫にて、厳密な

ヌ民族の

た。

「ことば」

部員は「非常に楽しくアイヌ文化と農

主に博物

ポイでは

_ _

深めた。午後は、苫小牧市にあや伝統的な楽器の演奏を聞く等、

ホランド㈱苫小牧デポを訪問。検、「年後は、「苫小牧市にある日本

ついて知る事ができ、更に衣装着用体

知識を

「交流」に

ハス内での

会話が絶えず充実した様

子だっ

歴史」 くらし」 世界

回の研修で得たことを今後の営農に活か

したい」と話した。視察先では2カ所共に

ショップでお土産を買う者が多く見ら

業機械につ

いて理解する事ができた。

今



研修となった。新年会も兼ねて千歳欲的に参加し、とても有意義な道・

た。新年会も兼ねて千歳市内し、とても有意義な道内視察加となったが、部員たちは意

い9名の参加となったが、部員たちは

直前のキャンセルも多く例年より少な

▲表彰状を受け取る斉藤仁さん

らも一本でも多く高品質な花を生産でき

があっての事と思っております。これか 仲間や他産地、各関係機関の方々の支え す。この受賞にあたって、家族はもちろん 晴らしい賞をいただき大変光栄に思いま

るように精進して

いです」と受賞

カメラレポート

早来学園の調理場を借り料理教室を開んぽぽの会では12月18日(水)、安平町立JAとまこまい広域早来支部女性部た 催。部員6名が参加した。 大福販売を実施

持ちする菓子。「時間を置くことでドライ 変化を楽しみながら食べることができる」 は、準強力粉にバター30%以上、ドライフ と講師は話す に溶かしたバターを全体につけ、粉砂糖を んが講師となりドイツの伝統的な発酵菓 料理教室では、同女性部員の芦谷操さ ツ60%以上を配合し焼き上げた菓子 し発酵をさせることで1 -ツの水分や味が生地に馴染み、味の レン作りを教わった。シュト 力月程度日

_{地域の話題を}

パチリと



る作業をし、型を整え焼き上げた。焼き上ツ等を混ぜ入れ、ムラがなくなるまで捏ね のを心待ちにしている」と話す。 す事ができた。クリスマスに家族で食べる の様子を見る事もでき、楽しい時間を過ご 自宅へ持ち帰る事にした。 げた菓子に粉砂糖をまぶす仕上げ作業は 参加した部員は、「子供が早来学園に おり、初めて施設を利用 、女性部 早来支部では1月25日

た。内藤支部長は、「年々部員の作業の手 り、用意した大福は1時間ほどで完売し あん作りの作業は前日に行い、販売日早朝 (土)、道の駅あびらにおいて今年で3年目 よりあんを詰める作業を行った。販売には となる女性部手作りの大福販売を実施。 販売開始を待つお客様の行列姿があ

2回目の販売に向けて頑張って行きたい

料理教室と

早来支部女性部行事

「厚真産ハスカップ」地域団体商標登録を取得く

堀組合長と石橋専務へ報告する

として地域団体商標登録を取得した 広域本所を訪れ「厚真産ハスカップ」部会長は12月16日、JAとまこまい 厚真町ハスカップ部会の山口善紀

冷凍した「あつまみらい」「ゆうしげ 実施したことを伝えた。JA担当者 り組みを令和6年秋口から試験的に を卸し、全国の百貨店で販売する取 り組みとして、お菓子のmorimotoへ 堀組合長と石橋専務へ説明 をかけ取得したことや、経緯などを ことを報告した。8年半という歳月 また今年度のハスカップ販売の取

▲左から石橋専務、山口会長・堀組合長

▲大福販売

当日は、生地にスパイスやドライフル



得に繋がれば」と話す 品できなかった」と話す。加えハスカッ なり、部会員の活力と新たな部会員獲 ため、山口会長は「この取得が起爆剤と な出荷量を確保する事ができて ブ部会の高齢化も重なり中々思うよう は「しかし、今年はハスカップが裏年と いうこともあり注文の半分ほどしか納 いない

名が取得できたので、今後は全国のい。厚真産ハスカップとしてブランドけ「ようやく取得することができ嬉し なく、食べてもらえたらと思う」と喜び 方々に名前を知ってもらうことだけで と今後の抱負を話した。 最後に山口会長は団体商標取得を受



青年部穂別支部帯広視察研修を実施

他産地の技術を学ぶ

員13名が参加-2日~3日までの1泊2日で実施し、部 青年部穂別支部は、道内視察研修を12月

察を行った。 験場、JA帯広かわにしの計2カ所の視 ことを目的に、農業研究本部十勝農業試 の青年部活動と農業経営に活か 試験場では、十勝の長芋の品種特性や 同視察研修は部員の知識を深め、今後

▲農林水産大臣賞を受賞した、スプレーマム「シャボン」

評会(切花の部)で入賞した

生産者の表彰も併せて行わ

れ、JAとまこまい広域生

62回札幌花供養祭が開催さ

れた。第4回北海道花き品

き振興委員会主催により第

令和6年11月27日、札幌

農林水産大臣賞を受賞

厚真花卉部会の斉藤仁氏が

第4回北海道花き品評会(切花の部)開催

ークホテルにて北海道花

興味津々に聞き入っていた。 期安定出荷技術の開発などの研修を受け ちゃ反収3トンと省力栽培法の技術と長 長芋を太く長くできる技術、道産かぼ た。部員達が初めて聞く技術情報も多く

JA帯広かわにしでは、長いもが洗浄

生産が盛んに始まる了月に

品評会の審査は毎年花き

札幌花き地方卸売市場で行

われ、全道各地の生産者から多数出品さ

れる。毎年、バラやカー

ネーション、百合

る農林水産大臣賞を受賞。 斉藤仁さんが、最高位とな 産部会の厚真町花卉部会の

表彰式に参加



を受賞した。

斉藤さんは「農林水産大臣賞という素

のスプレーマム「シャボン」が栄誉ある賞 合的に審査される。そして今回、斉藤さん が集まり、品質や花・葉・茎の色沢など総 やアルストロメリアなど色とりどりの花

では、多くの質問を投げかけてい 見学した。多数の機械ア で、全てが自動化された洗浄選別施設を から箱詰め、出荷のトラッ われていた。その後、担当者との意見交換 いる迫力のある光景に、参加者は目を奪 ームが稼働して クに乗せるま ▲JA帯広かわにし(集合写真)

層の発展に貢献していきたいです」と意 重な経験を活かして、地域農業のより一 当に有意義な研修になりました。この貴 解を深めることが出来て良かったです。 圧巻でした。十勝川西長いもについて、理 自分でも長芋を作っているのもあり、本 中澤支部長は「自動化された選果場は

06

土要意見集約(Q&<)の期組合員懇談会で和6年度 8

開催日:令和6年12月9日·10日 出席者数:64名

画 管 理 部

- Q 1 TNE
- 。スマホの利便性と費用を考慮し、運用に支給しているため、通話に特化したガラ農産部門、畜産部門の市場関係者との通
- Q 2
- A 2 で出た意見も広報誌での回答だけで終わっている。地区懇談会の昔の地区懇談会と比べると参加する人も少なくなってきた。そこました。地区役員と協力し、JA運営を進めて参ります。常勤理事の選任については各地区の役員と協議し選考させて頂きなったが、他地区から選任すべきではなかったのか。(厚真支所)
- Q 3
- A 3
- Q 4

Q 5

A 5

- Q 6
- 40 農地の畑地化について、なるべくなら購入してからの畑地化が望ましいと思うが、農協で何か対策はしているか。(早来支所) であることからも非常に難しさを感じます。これらを鑑みると、賃借地の畑地化を行う場合は、農地利用者が後々に農地購入することを視野にいれて地権者と協議することが一般的ではないかと考えます。 A 6
- Q 7
- A7. 厚生病院の受入キャバシティの問題ではありますが、10人以上の集団受診を行うことにより予約枠が取りやすくなります。また、胃の検査を内視鏡で行う場合においては予約日時が限られるような対応がとれないか、支所担当者を通じ検討して参ります。また、間の検査を内視鏡で行う場合においては予約日時が限られることをお許しください。

 38. 数量払いについて3月が4月に変更になることは理解できましたが、品代確定概算金は従来通り3月なりかなが取れない。元々農家のたが、品代確定概算金は従来通り3月なりかなが、元々農家のたり、1000円を増加して、1000円できましたが、日代確定概算金は従来通り3月なりかなが取れない。元々農家のたり、1000円では、1000 **A 7**
- Q 8
- A 8
- Q 9
- A 9
 - Q 10
- A 10

Q

- Q Α A11. 厚真支所からのご要望でしたので、厚真町産業経済課と内容確認の上ご回答致します。厚真町では有害駆除に係るくくり罠の事業については10月末までの計画でしたが、予定より早い9買の事業については10月末までの計画でしたが、予定より早い9関の事業については10月末までの計画でしたが、予定より早い9関の事業については10月末までの計画でしたが、予定より早い9関の事業については10月末までの計画でしたが、予定より早い9関の事業については10月末までの計画でしたが、予定より早い9関の事業については10月末までしたので、厚真町が実施するくくり買の指獲が2000とです。 11
- Q Α 31. 今はホクレンのRTKシステムを利用していないが利用を検討している。しかし、接続不良が目立っていると耳にしている。中継地点や基地局を新たに設置できないのか。(穂別支所) めて参ります。また、今後管外近隣地区において基地局を新たに設置できないのか。(穂別支所) がおきる可能性があり、一部行政においては電波の届かない地区に対して携帯電話の臨時基地局の電波受信能力により不具合がおきる可能性があり、一部行政においては電波の届かない地区に対して携帯電話の臨時基地局の電波受信能力により不具合があり、そちらの電波が受信困難地をカバーできる可能性もあることから注視して参ります。 が、日3から R5までは2170頭分、R6から R8までをが、R3から R5までは2170頭分、R6から R8までを2670頭分と増額して実施しています。 12
- A 13

- **Q4.** 米の販売先一覧について、コー・た理由は何ですか。また、ネオニ・大理由は何ですか。また、ネオニ・か、「早来・穂別支折」 タも耳にしたがそれが影響しているのクニニコチノイド系の農薬を使用したおープさっぽろが66t →0t になっ
- Α A14. 取扱いの卸の振り向けた農業振興について耕種、畜種問わず関係機関ではありません。購買部門では、昨年からトドックのチラシに掲載してもらい、さくら米やたんとう米を販売をしておりません。購買部門では、昨年からトドックのチラシに掲載してもらい、さくら米やたんとう米を販売をしております。また生協苫小牧沼ノ端店が R6・11に開店以降、苫小牧管内生協、生協白老店でたんとう米を販売しております。また生協さ小牧沼ノ端店が R6・11に開店以降、苫小牧管内生協、生協白老店でたんとう米を販売しております。また、10年後の日本店でたんとう米を販売しております。また、10年後の日本店でたんとう米を販売しております。また、10年後の日本店でたんとう米を販売しております。また、10年後の日本店でたんとう米を販売しております。また、10年後の日本店でから、11年後の日本店では、14年の大阪では、14年の大 14
- Q 15
- A 15

- Q 16 を含め検討してまいります。

 *7・ 折見式患者のでよいによってコストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。コストダウンに向けては、いろんな角度の状態となっております。

 *7・ 折見式患者の大変という話を聞めら検討を図ってまいります。
- A 16
- Q 17
- A 17 生産者ニーズも取り
- Q 18 17. 新規就農者の方などは、ほうれん草、京本品目を生産する方が増えている。 そ菜品目を生産する方が増えている。 していく考えか。(厚真支所) していく考えか。(厚真支所) していく考えか。(厚真支所) していく考えか。(厚真支所) と実感した。今後ほうれん草で就農を と実感した。今後ほうれん草で就農を と実感した。今後ほうれん草で就農を と実感した。今後ほうれん草で就農を の営農を終え
- A 18 と部会としてやがて機能しなくなるのではないかと考えている。 でロッコリー部会では、生産者が減少している点や経費を考えるし栽培技術の確立に向けて取り組んで参ります。 温暖化が進みほうれん草生産が厳しくなってきたことは事実であ感じる。(厚真支所)
- Q と考えている
- A 19 の掛力
- A 20 都合により受入時間に対応させて頂きます。 都合により受入時間外に出荷する場合は、連絡を頂ければ対応致効率化が図れるのではないか。(厚真支所) るようなやり-いかなければ!
- A 21
- 22
- A 22 ります。職員不足で満足な対応ができなかったと思いますが、今担当職員の退職に伴い事務局が不在となりご迷惑をお掛けしてかった。今後担当事務局は配置されるのか。(厚真支所)れたが7月で退職してしまい、以降正式な担当者が付くことは

- Q 23
- A 23
- Q 24
- A 24 今年度の出荷制限は物流の関係で出荷が出来なかった事が要因でまた、農協としては、横持ち用トラックの所有について検討、協す。また、農協としては、米の施設への横持ちについては出荷や搬を増やし対応予定です。南瓜のバラ出荷につきましては出荷や搬を増やし対応予定です。南瓜のバラ出荷につきましては出荷や搬る。来年度に向けては、米の施設への横持ちについては連搬業者を増めていく考えです。

- Q 25
- A 25 しますので、ご希望される方は各支所金融窓口にご相談下さい。期間を要することから手当金相当額についてつなぎ融資を実施致い。ご指摘の通り国からの手当金につきましては、交付まで半年近いる概算払いのように JA で立替払いはできないか。(白老支所) 国からの手当金は入金まで時間がかかる。農産などで実施してい、成域管内でヨーネ病が流行している件について、患畜淘汰に係る

- A Q 28 28 **26. ご要望の件については既に要** ように行政へ伝えて欲しい。 (27. 安平町耕畜連携事業について ・既に要望を行っておりますが、安平町の本しい。(早来支所) しい。(早来支所)

- A Q
- 29. 自分資材店舗は冬期間どうなるのか。(自分支所)

 29. 自分資材店舗は冬期間どうなるのか。(自分支所)

 29. 自分資材店舗としています。11月~2月営業は、資材店舗として配送、が基本となるため、12:00~13:00は昼休業でシャッターを閉めています。3月~10月営業は資材店舗職員2名体制が基本となるため、1月営業は資材店舗職員2名体制が基本となるため、1月営業は資材店舗職員2名体制が基本となるため、全体業でシャッターを閉めてが基本となるため、1月営業は資材店舗職員2名体制が基本となるため、季業務内容を見直し、業務効率化を図り収支改善に取り組むため、季業務内容を見直し、業務効率化を図り収支改善に取り組むため、季業務内容を見直し、業務効率化を図り収支改善に取り組むため、季業務内容を見直し、業務効率化を図り収支改善に取り組むため、季業務内容を見立しています。 29 29
- Q 30 こんが、ホクレンにて種産地へ管理の徹底を依頼しいた。(厚真支所)にされたが JA に入荷した時点でのチェックをするいか。(厚真支所)でのチェック・管理体制も不十分での発芽不良について何か対策を講じるのか。ホクーの発芽不良について何か対策を講じるのか。ホクーの光芽不良について何か対策を講じるのか。ホクーの・ステーの・ステークをする。
- A 30
- Q
- A 31
- Q 32
- A 32 けして頂くよう、迅速に連絡が
- Q A2. ご指摘ありがとうございます。今後に関しましては、担:からない場合は、本所担当者に繋げるように徹底し、迅取れる体制を構築していきますので、今後も話掛けして取れる体制を構築していきますので、今後も話掛けして取れる体制を構築していきますので、今後も話掛けして取れる体制を構築していきますので、今後に関しましては、担:いると聞く。先程から採算が合わないと継続は難しいといると聞く。先程から採算が合わないと継続は難しいといると聞く。先程から採算が合わないと継続は難しいといると聞く。た程から採算が合わないと継続は難しいといるがいると問く。 33 など言われてなど言われてしてしてし
- 33 ていますので移動購買車が継続出来るように取り組ます。現在、むかわ町へR7年度に向け移動購買車更新は様には、ご不便をお掛けしたことに対しまして、おおら年度も、移動購買車の故障等が続きご利用していま ^{組んで参ります。} 新の事業要請をし R詫び申し上げま いただいている皆





農業のやりが

こ前置きしたうえで「播種やりがいかどうか分からない

優太さん(34歳) 厚真町本郷

就農のきっか



学部があり、当時から関を利用した農作物栽培

子長イモの面積を拡大設で保管してもらって は達成感を感じる」とも話して 「今は収穫した種イ なってきた時 、今では効率 の作業に悪戦 はあるが、I標を話し できたか畑中

展業担い手セは、厚真町の と生まれ育っ 現在

だから感じ ませんがら何ま

です」と一言。いたことはあ

理事会報告

令和6年11月29日(金)に総合営農センターで第12回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- 1. 一般報告と当面する諸行事について
- 2.10月末財務報告について
- 3. 組合員の異動について
- 4. 固定資産の取得・処分について
- 5. 第3回管理委員会の報告について
- 6. 第3回生産委員会の報告について
- 7. 第2四半期定期監事監査意見に対する回答について
- 8. 内部監査報告について
- 9. みのり監査法人期中監査 Ⅱ 経過概要について
- 10. 第3四半期余裕金運用状況について
- 11. 冬期組合員懇談会開催要領について
- 12. 令和7年度新採用職員内定者について
- 13. コンプライアンス委員会報告について

- 14. マネロンリスクに係る取組状況について
- 15. ALM委員会報告について
- 16. 令和6年度JA農業経営緊急支援資金に係る資金対応
- 17. JA共済コンプライアンス点検結果について
- 18. 令和6年度農業振興基金の運用状況について
- 19. 令和7年度営農計画書樹立方針について
- 20. 農産物代金等立替の実施について
- 21. 家畜共進会・枝肉共励会の結果報告について
- 22. 年末年始の営業時間について
- 23. 白老町への家畜農家に関わる支援要望書について
- 24. 第4回本所経営指導委員会報告について



1. 第3四半期収支予測について



2号 年末手当の支給について 議案第 3 号 給与規程の改定について

議案第 4 号 出資の減口と譲渡について



令和6年12月20日(金)に総合営農センターで第13回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- 一般報告と当面する諸行事について
- 2.11月末の財務報告について
- 3. 組合員の異動について
- 4. 第3四半期定期監事監査の結果について
- 5. 経営定期点検の結果について

- 6. 令和6年度組合員懇談会の意見集約について
- 7. 決算実地棚卸立会について
- 8. 無料職業紹介に係る是正指導について
- 9. 令和7年度生産者組織活動助成金の対処方針(案)について
- 10. Aコープ歳末謝恩大売り出し実施計画について



1. 肉用繁殖牛リース事業の新設について



- 1号 理事会選出役員推薦委員の選任について
- 令和7年度内部監査計画について
- 普通送金の取扱廃止等を踏まえた信用事業方法書の変更について
- 4号 令和6年度酪農振興積立金の取り崩しについて
- 議案第 5 号 出資の減口と譲渡について
- 議案第 6 号 理事へのリース貸付について



おぐり講座

細霧冷房システムの 乳牛への効果は?

暑熱対策の参考にしてください

胆振農業改良普及センター東胆振支所

JAとまこまい広域管内では、乳牛の暑熱対策として昨年5月から「細霧冷房システム」が導入されました。このシステム導入後の経過や効果について一例を報告します。

1 細霧システムを導入したA農家事例

昼夜を通じてトンネル換気をしているA搾乳牛舎にこのシステムが導入されました。中央通路に沿って2列に配管と噴霧ノズルが配置され、全体に噴霧される仕組みとなっています。窓の開け方を微妙に調節しながら送風と細霧(ミスト)が全体に流れていくよう工夫しています。





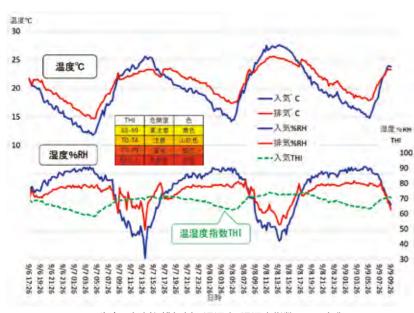
細霧冷房牛舎概要と温湿計の位置

ミスト噴霧時の様子

2 乳牛への効果は

牛舎内の日中の温度は外気温より3℃程低く、夜から朝方にかけて5℃程高く推移しており、外気温に比べ温度の変化が抑えられていました。一方、湿度は日中で15%程低く夜から朝方にかけて15%度程高く推移しており、温湿度指数THIは60~70程になり「要注意以下」レベルに保たれていました(図1)。昨年に比べ夏場の乳量と乳成分は高く推移しました(図2)。

令和6年は前年ほどの高温ではありませんでしたが、細霧冷房システムは暑熱対策に効果的だと考えられます。



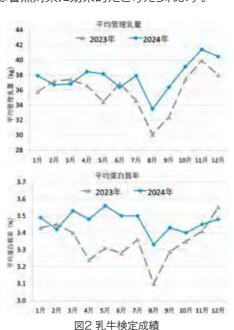


図1 牛舎入気側と排気側の温湿度、温湿度指数THIの変化

ワンポイント営農情報

令和6年度にクリーン農業係でサポートした各種試験事業の取組概要を紹介します。 詳細につきましては、広域生産振興会資料等で報告いたします。

令和6年度試験一覧(一部抜粋)

分類	対象作物	試験内容	資材名	判定	備考
	全作物	とまこまい広域の土性調査及び 土壌診断の必要性	_	0	帯広畜産大学協力
	水稲	幼穂形成期流し込み追肥による 収量増加効果確認	尿素(粒)	0	普及拡大に向け調整中
	秋まき小麦	少量多回分肥による収量増収 効果確認	硫安(粒)	0	普及拡大に向け調整中
肥料	大豆	肥効調節型肥料(広域独自銘 柄)による効果試験	Jコート HBS659J (仮設計肥料)	0	成分変更の上、令和 9年度とりまとめ肥料 掲載予定
	大豆	腐植酸施用による生育·根域· 収量への効果確認	アグロリグ SC	0	酪農学園大学協力 普及拡大に向け調整中
	南瓜	化学肥料使用量削減に向けた 堆肥入り肥料の効果確認	HCBS257 (仮設計肥料)	0	成分変更の上、令和 8年度とりまとめ肥料 掲載予定
	大豆 ブロッコリー 南瓜	腐植·有機酸液肥効果確認	ソイルサプリ液肥	0	普及拡大に向け調整中
農薬	水稲	カヤツリグサ科(ホタルイ、 シズイ)の除草効果	イッセン豆つぶ	0	令和7年度農薬とりま とめ掲載

シリーズ No.55 おいしい米づくり

~ケイ酸資材の施用は総合対策につながります~

ケイ酸の施用は、多様な効果発現が期待できます(図1)。特に、茎葉を丈夫にし、倒伏防止や受光態勢の改善に効果が高いとされ、日中の高温条件では稲体表面温度を大幅に下げ白未熟粒の発生抑制効果に注目されています。

昨年は遅発分げつによる未熟粒の混在も見られました。近年水田土壌の鉄分の有効性が注目され、活着後のワキが激しい水田では、鉄資材の施用により土壌のクリーン化が働き、初期生育改善による品質・食味の改善が期待できます。

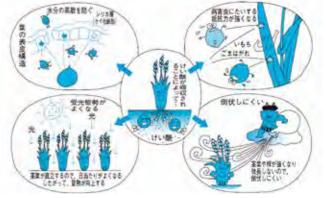


図1 ケイ酸の施用効果(全農技術資料より)

JAの土壌分析では、「遊離酸化鉄」の分析 (オプション対応) を開始しましたので、土壌の健康状態の把握にご活用下さい。

令和5年産 一般米精米勘定収支内訳

○入金 (消費税込み)

区分	販売先	金額	販売俵数	1俵あたり単価
	ホクレン	2,221,747,522	151,297.5	14,685
一般米	JA店舗	79,531,163	5,680.0	14,002
	商社	113,505,570	7,761.0	14,625
合	計	2,414,784,255	164,738.5	14,658

○入金 (消費税込み)

項目	金額	摘要
販売金額	80,542,360	うるち米5680俵
合 計	80,542,360	

○精算

区分	金額	販売俵数	1俵あたり単価
一般米	2,414,784,252	164,738.5	14,658
合 計	2,414,784,252	164,738.5	14,658

l	共計残余金	3

※残金については、農産雑収益に繰り入れ。

※JA共計費用@760円/俵(税込み)については別途徴収 (JA手数料@285·保管料@254·入出庫料@93·検査料@50·保険料等@9(税別))

○支出

項目	金額	摘要
うるち原料代金	78,254,500	うるち米5680俵
もち原料代金	0	
保 管 料	738,400	
精米·色選料	0	
包装資材料		
諸 経 費	272,797	消費者協会
合 計	79,265,697	

令和5年產 大豆 共計精算報告

共計精	算数量					(単位:俵)
] 1 1	□	入	庫	数	量	

品種	区分		入	庫 数	量	
口口作里	区ガ	1等	2等	3等	特定加工用	合計
	大粒		2,612.5	6,170.0	8,934.0	17,716.5
ユキホマレ	中粒			3,187.0	1,668.5	4,855.5
	(小粒)				581.0	581.0
	小粒		6,018.5		1,768.0	7,786.5
スズマル	極小粒				1,263.5	1,263.5
	(小粒)				125.5	17,716.5 4,855.5 581.0 7,786.5 1,263.5 125.5 6,288.5 1,282.0 332.0
	小粒		4,510.5		1,778.0	6,288.5
ユキシズカ	極小粒			931.0	351.0	1,282.0
	(小粒)			220.5	111.5	332.0
合	計	0.0	13,141.5	10,508.5	16,581.0	40,231.0

○精算単価

残余金

|--|

1,276,663 | 共計勘定へ繰り入れ

品種	算単価				
口口作里	区分	1等	2等	3等	特定加工用
	大粒		8,340	8,100	7,786
ユキホマレ	中粒			7,758	7,518
	(小粒)				6,648
	小粒		7,462		6,940
スズマル	極小粒				6,746
	(小粒)				5,930
	小粒		7,826		7,246
ユキシズカ	極小粒			7,416	7,142
	(小粒)			6,546	6,306

○精算金額

(単位:円)(消費税込み)

品種	区分	共計精算金額				
口口(作生)		1 等	2 等	3 等	特定加工用	合 計
	大粒		21,788,250	49,977,000	69,560,124	141,325,374
ユキホマレ	中粒			24,724,746	12,543,783	37,268,529
	(小粒)				3,862,488	141,325,374 37,268,529 3,862,488 57,179,967 8,523,571 744,215 48,182,561 9,411,138
	小粒		44,910,047		12,269,920	57,179,967
スズマル	極小粒					8,523,571
	(小粒)				744,215	141,325,374 37,268,529 3,862,488 57,179,967 8,523,571 744,215 48,182,561 9,411,138 2,146,512
	小粒		35,299,173		12,883,388	48,182,561
ユキシズカ	極小粒			6,904,296	2,506,842	9,411,138
	(小粒)			1,443,393	703,119	2,146,512
合 諄	合 計		101,997,470	83,049,435	123,597,450	308,644,355

JA手数料 @322円/60kg (10%税別)については別途徴収

News & Topics from JA

J A からのお知らせ

JA日誌

2025 **2**月

16日 🗐

17日月

18日火 第3回フロンティア塾

19日水 4地区農協組合長会議(札幌)、白老支所経営指導委員会

20日本 第1回企画会議

21日金 第1回監事会、第1回理事会

22∃±

23日日 天皇誕生日(祝)

24日月 振替休日

25日火 第1回管理·生産委員会

26日 水 農事組合法人らくのう通常総会、 早来支所経営指導委員会

27日 木 追分支所経営指導委員会

28日金 第2回理事会

2025 3月

1日 土 勇払東部国営農業用水再編対策事業完了報告会(厚真)

2日日

3日月 決算監事監査~7日

4日火

5**∃**®

6日 木 常勤理事と監事団の意見交換会

7日金 たまやPB北海道米イベント~8日、監査講評

8_目生

9日日

10日月 第24回広域女性部通常総会、穂別支所経営指導委員会

11日火 日胆地区組合長会、作物別委員会、厚真支所経営指導委員会

12日水 ホクレン肉牛市場

13日 木 第4回フロンティア塾、第1回本所経営指導委員会

14日金 ホクレン乳牛市場、系統連合会臨時総会

15日 金 あびら川新酒発表会(予定)

JA共済交通安全ポスターコンクール

JA共済連が主催する、2024年度交通安全ポスターコンクールの入賞者 が発表され、早来学園1年の吉岡瞳さんが全道からの応募数1,969点の中か

ら金賞に選ばれた。優れたアイディアと表現力 で交通事故防止を訴えた力作は、2度にわたる 予備審査を経て決定された。

同コンクールは、相互扶助や思いやりの精神 を次代を担う小・中学生へ伝えていくとともに、

児童・生徒の図画 工作・美術教育の 高揚を図り、交通安 全思想を幅広く社 会に訴えることを目 的として開催され、 今年で51回目を迎 えた。



表彰状を受け取る吉岡さん

今年の出来秋と作業の安全に祈願する

JAとまこまい広域は令和7年の仕事始めとなった1月6日、厚真神社で豊 穣祈願祭を実施。常勤役職員や地区担当理事ら約30名が出席。宮司から祝

詞が読み上げられ、今年の出来秋と作業

の安全を祈願した。 堀弘幸組合長は「色々な課題や問題が

発生するかもしれません。その際は皆さん のお力をお貸しして欲しい。何事にも臨機 応変とスピード感を持って対応して頂けれ ばと思っております」と挨拶した。



豊穣の秋と作業の安全を祈願する様子

13

謹んでご冥福を 月日 地区 氏 名 享年 お悔やみ お祈りいたします。 12/14 厚真町 岩田 文一さん 94 月日 地区 氏 名 享年 12/18 厚真町 小林秀太郎さん 80 11/26 むかわ町 三上 妙子さん 59 12/19 厚真町 髙安 繁雄さん 89 12/6 厚真町 岡村 梅子さん 88 1/4 厚真町 熊澤 洋子さん 96 12/8 安平町 城宝サツ子さん 97 1/16 厚真町 大垣 安治さん 97 12/12 厚真町 工藤トシエさん 85 1/23 安平町 長谷川哲雄さん 93

・ ホクレン南北海道 広域農協支所別取引成績(12月) 黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(12月)

令和7年1月15日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	24	587,500	1.121	1,778
T	雌	10	506,700	1.102	1,479
苫小牧	去勢				
百小权	雌				
早 来	去勢	35	610,057	1.161	1,723
+ *	雌	12	524,917	1.071	1,596
厚真	去勢	26	617,385	1.135	1,821
序	雌	14	473,929	1.056	1,445
穂別	去勢	22	637,500	1.175	1,831
נילל אוא	雌	18	528,000	1.062	1,622
追分	去勢	3	518,000	1.043	1,506
	雌	4	515,750	1.049	1,576
とまこまい	去勢	110	609,845	1.146	1,773
広 域	雌	58	509,793	1.068	1,545
n +=	去勢	197	607,411	1.143	1,783
胆振管内	雌	114	491,982	1.044	1,519
± +8 €1	去勢	791	594,866	1.130	1,776
市場計	雌	562	475,788	1.025	1,507